

hot news

障がいのある方の声を市政に反映 政策提言をする障がいのある方を募集します

障がいのある方の意見を市政に反映させるため、「障がい者による政策提言サポーター制度」を創設します。

これは、障がいのある方たちが普段思っていることや考えていることを、同じ目線で理解することができ、障がいのある方に、聞き取り役や取りまとめ役となる「サポーター」となってもらうもの。サポーターは、寄せられた意見を政策提言としてまとめ、市長に直接提出します。このほか、二カ月に一回程度行う懇談会などに出席します。

■サポーター募集案内

任期11月から2年間。

対象市内在住の18歳以上の障がいのある方。

hot news

高専・高看大学の基本構想まとまる 平成18年春の開学を目指します

市立高等専門学校（高専・南区芸術の森一）と市立高等看護学院（高看・中央区北一西十三）の四年制大学化について、市では、平成十三年度から幅広い市民論議を重ねてきました。その中心的な役割を担う大学化検討懇話会によって昨年十二月にまとめられた提言を踏まえ、このほど「（仮称）札幌市立大学基本構想」を策定しました。

この構想は、大学設置についての基本的な考え方と枠組みを定め、具体的な計画を進める上での指針となるものです。これに基づき、カリキュラム（教育課程）や教職員体制の概要などを盛り込んだ基本計画を、今年度中に策定し、平成十八年春の開学を目指します。

地域貢献への3つの視点

- 市民に開かれた大学
学べる機会を増やす、分かりやすい運営をする、大学間のネットワークづくりを支援する
- 市民の力になる大学
地域産業を元気にする、少子高齢社会の安心・安全を高める、地球環境を大切に^{（仮称）}する
- 市民が誇れる大学
世界に視野をひろげる、芸術と文化をはぐくむ、快適で美しいまちをつくる

hot news

目指すは来客2千万人 集客交流・シテイPRキャンペーン事業を展開

「来客二千万人」を目標に、今年度から三年間、「集客交流・シテイPRキャンペーン事業」を展開していきます。

この取り組みは、関連する事業を連携させることで、より一層札幌への人の流れをつくり出していこうというもの。札幌にやって来る人々を温かく迎える「おもてなし」、札幌が持つ魅力の「PR」、会議やイベントを積極的に誘致する「コンベンション」の三つを柱に進めます。

実施に当たっては、市が単独で行うのではなく、企業や

具体的な数値目標を立てているのも大きな特徴です。一例を挙げると、観光客の満足度

※国際会議やイベントなど多くの人が集まる催しの総称。

募集人数6人（障がい関係団体などからの選出を含め計12人を予定）。

応募用紙市役所3階障害福祉課や区役所の保健福祉サービス課などで配布中。

申込応募用紙に必要事項を記入し、10月31日（金）（消印有効）までに送付か持参。ファクスでの申し込みも可。選考の結果は、11月下旬までに応募者全員にお知らせします。

申込先・詳細 障害福祉課 ☎(211) 2936、FAX(218) 5181

について、平成十四年度の84・5%を平成十七年には90%以上にすると設定。目標値に着実に近づけるよう、年度ごとに事業の評価を行いながらさらに新たな事業へと結び付けていきます。

【詳細】コンベンション推進課 ☎(211) 2388



平成14年度には、1,325万人の観光客が札幌を訪れています（写真は羊ヶ丘展望台）

- ①デザイン系学部（定員百人・二学科程度）と、看護系学部（同八十八人・一学科）の二学部を設置
- ②透明性・柔軟性・効率性が高く、地域社会へ貢献する運営形態を確保
- ③現在の高専・高看の施設を利用し、あらゆる人にとつ

基本構想とその概要版は、市役所五階大学設置準備室と区役所広聴係で配布中です。

【詳細】大学設置準備室 ☎(211) 2182